ボーリング柱状図

調　査　名　二級河川 瀬野川水系 長谷川 通常砂防事業に伴う業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名　二級河川 瀬野川水系 長谷川 通常砂防事業

シートNo.

ボーリング名	Bor-No.2	調査位置	広島市安芸区阿戸 (長谷川左岸側)			北緯	34° 23′ 12.01″
発注機関	広島県西部建設事務所 工務第一課			調査期間	平成 27年 9月 28日 ～ 27年 9月 30日	東経	132° 37′ 26.92″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H=162.06m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 42°	使用機種	試錐機	東邦D1-B48型	ハンマー落下用具	半自動モンケン
総掘進長	8.00m								エンジン	ヤンマーNFD-13型	ポンプ	東邦BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	161.86	0.20	0.20		表土・砂質土	黒茶			草付の表土。やや腐植質な粘土質細砂状。微礫～粗粒砂を混在。緩い。	
1	161.36	0.50	0.70		盛土・玉石混砂質土	褐灰			礫・シルト混り砂状の不均質な礫質土。コア長L=100mm位の玉石含む。締りは緩い。	
2	160.21	1.15	1.85		盛土・砂礫	暗褐	中位		混在礫φ10～40mm位の亜角礫主体で、特に流紋岩礫多い。基質はシルト混り砂状の不均質な砂質土。	9/29 1.67 ▽ (無水掘り水位)
3					玉石混り砂礫	黄褐～暗黄褐	非常に密な		コア長L=50～200mm位の玉石を多く混入する。(φ100mm～φmax600mm大が予想) 玉石間の礫はφ10～60mm位で玉石を含め亜円～円礫系が主体をなすが、少量の角礫系も混じる。 礫・玉石岩種の主体は花崗斑岩～流紋岩類で、全般に非常に硬質である。 礫間の基質はやや粘性土質な粗粒砂質土状であり比較的締まっている。	
4										
5	157.06	3.15	5.00							
6	155.86	1.20	6.20		風化花崗斑岩	黄褐灰	極密		マサ状に鉱物変質が進み脆化土砂化が進行している。コアは密実にモザイク状に細片化しハンマー軽打で砂状～細礫状となる。岩盤等級はDm級である。	数岩 I
7					花崗斑岩	黄褐灰～白青灰			風化が進行しており変質部と非変質部が不規則に交互する。 花崗岩と交錯又は混成様な岩相を呈しやや破砕質な接まれた感がある。 岩質脆くハンマー軽～中打で砕ける。 岩盤等級はDm～CL級である。	
	154.31	1.55	7.75							
8	154.06	0.25	8.00		花崗岩	白灰			優白色な黒雲母花崗岩。GL-9.9mまでCL級。GL-9.9mよりCM級に硬化する。	数岩 II
9										

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	6	7	10	23／30	23
1.45	30	20		50／20	75
2.05					
2.25	32	18／5		50／15	100
3.05					
3.20	26	24／6		50／16	94
4.00					
4.16	25	25／6		50／16	94
5.00					
5.16	50／7			50／7	214
6.00					
6.07	貫入不能			50／0	
7.00					
7.00					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験(　)

掘進月日: 9/28, 9/29, 9/30